

# 北海道浮魚ニュース

平成 22(2010)年度 14 号

2010 年 8 月 27 日

北海道立総合研究機構 水産研究本部  
釧路水産試験場

ホームページ : [http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki\\_index.htm](http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki_index.htm)

## ◎道東太平洋スルメイカ資源調査結果

- ・スルメイカは道東太平洋沿岸に広く分布。
- ・分布密度は前年並み, 落石沖と厚岸沖で高密度。
- ・前年よりやや小型。

- ・調査期間 : 2010 年 8 月 17~26 日
- ・調査海域 : 道東太平洋沿岸
- ・調査船 : 北辰丸 (釧路水産試験場)
- ・調査方法 : イカ釣機 6 台を用いた約 3 時間半の夜間操業

### 1. スルメイカの分布密度

スルメイカは道東太平洋の 10 調査点すべてで漁獲され, 十勝沖から根室沖までの広い海域に分布していることが確認されました(図 1)。各調査点のスルメイカの分布密度(イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数)は 0.8~24.7 で, 落石沖で 24.7, 厚岸沖で 11.4 と分布密度が高くなっていました。全調査点の平均分布密度は 5.9 で, 前年(5.7)と同程度でした(図 2, 表 1)。

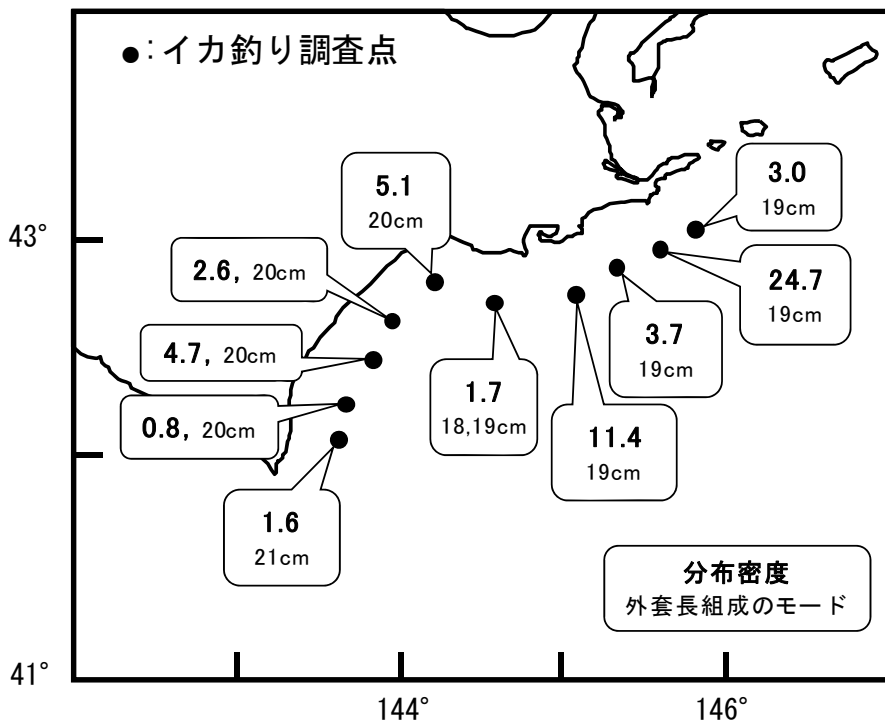


図 1 2010 年 8 月の道東太平洋におけるスルメイカの分布密度と外套長組成のモード

※分布密度は CPUE (イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) で示した。  
※モードとは最も多く漁獲されたイカの大きさ。

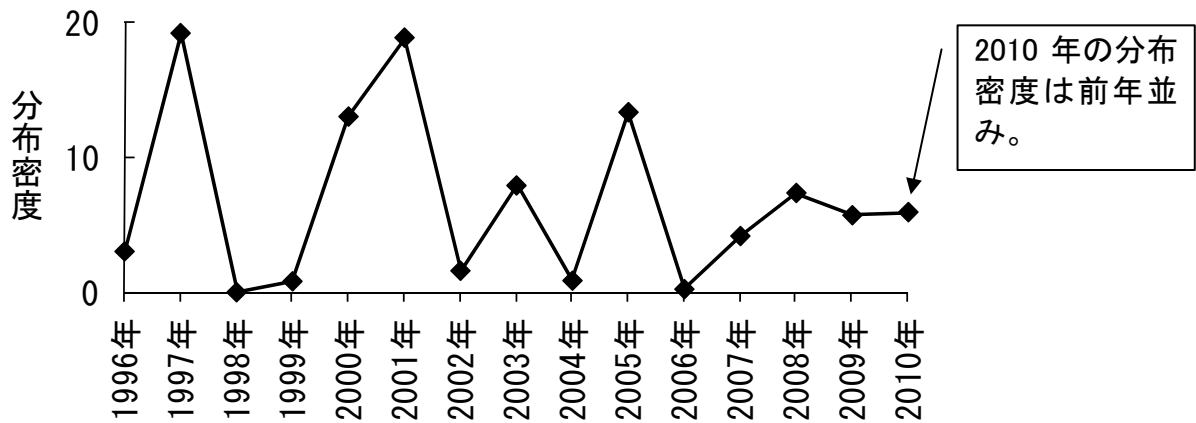


図2 8月の道東太平洋におけるスルメイカの分布密度  
※全調査点の平均分布密度の経年変化を示した。

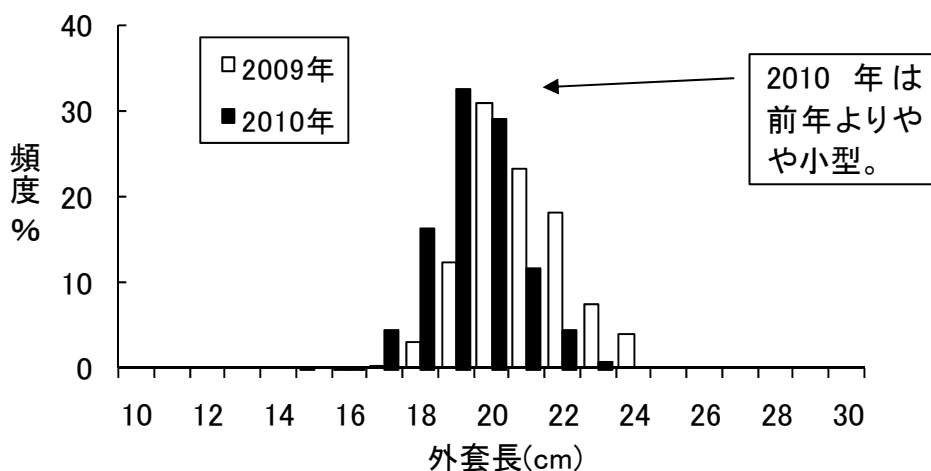


図3 8月に道東太平洋で漁獲されたスルメイカの外套長組成

## 2. スルメイカの大きさ

全調査点での外套長(胴長)の組成のモードは19cmで、前年(20cm)よりやや小型でした(図3、表1)。各調査点の外套長組成のモードは、18~21cmに見られました(図1)。

## 3. 表面水温

調査点の表面水温は15.1~19.4℃、平均17.3℃で、前年(13.6~16.3℃、平均14.7℃)より3℃ほど高めでした。

表1 2006~2010年のスルメイカ調査結果

調査日程	漁獲尾数	平均CPUE	外套長		調査点数
			範囲(cm)	モード(cm)	
2006年 8/22~28	36	0.23	17-24	21	8
2007年 8/21~28	607	4.16	16-25	20	8
2008年 8/25~29	1,197	7.35	13-23	19	8
2009年 8/18~23	418	5.70	15-24	20	10
2010年 8/17~26	1,212	5.93	16-23	19	10

○本調査結果と各研究機関の調査結果をもとにして、第2次スルメイカ漁況予報が9月下旬に発表されます。(文責:釧路水産試験場調査研究部, TEL:0154-23-6222, FAX:0154-23-6225)